



▲流れるじゅんさいに夢中！

6月24日、東能代駅において町の特産品である「じゅんさい」のPRをするため、流しじゅんさいが行われ、リゾートしらかみの乗客らが参加しました。

参加者は、じゅんさいのぬるぬるとした感触に苦戦しながらも、つかみ取ったじゅんさいをおいしそうに味わっていました。

流しじゅんさいには、地域おこし協力隊の竹内大さんが栽培したじゅんさいが使われており、竹内さんは「自分が作ったじゅんさいを目の前で食べてもらうのは初めてだから新鮮」とうれしそうに話しました。



▲きれいに使いましょう♪

6月27日、釜谷浜海水浴場において合同クリーンアップが実施されました。

この日は、八竜地域の小中学生や地元の企業・団体、サンドクラフト実行委員会らが参加し、プラスチックなどのごみ拾いを行いました。

学校の統廃合に伴い、八竜中学校、浜口小学校、湖北小学校の3校として参加するクリーンアップは今年で最後となります。

参加した児童・生徒は「家族や学校で来た思い出の場所。自慢の海にたくさんの方が来てほしい」「ごみを捨てず、きれいに使いたい」「これからもクリーンアップに参加したい」と話しました。



▲明るい地域社会に向けてがんばります！

7月1日、役場前において社会を明るくする運動のメッセージ伝達式が行われ、町保護司会の渡辺薫会長から田川町長にメッセージが伝達されました。

田川町長は、保護司や更生保護女性会のみなさんに対し、犯罪や非行のない明るい地域社会づくりへの取り組みに感謝を伝えたいと、「町でも、昨年度策定した再犯防止推進計画に基づき、犯罪や非行を犯した人が地域社会で自立した生活を送ることができるよう支援していきたい」とあいさつしました。

7月は同運動の強化月間であり、駅前やイベントなどで、のぼりの設置や広報物の配布などが行われました。



▲どんな飾り付けにしようかな♪

7月5日、琴丘地域拠点センターにおいて、食育の一環としてメロンまるごとショートケーキづくり体験が行われました。

当日は、地域おこし協力隊でパティシエの信太秋桜さんを講師に迎え、町内から5組の親子が参加しました。

ケーキづくりでは、メロンのくりぬぎをしたほか、生クリームなどを使ったオリジナルの飾り付けを楽しんでいました。

川村希央さんは「かわいくケーキに飾り付けをすることができた。ケーキを作るのは初めてで緊張したけど、楽しかったからまた作ってみたい」と笑顔で話しました。

ぬるっと感触に苦戦
流しじゅんさい大盛況！

釜谷浜をきれいに♪
合同クリーンアップ実施

誰もが安心できる町に！
社会を明るくする運動

親子で食育♪
八竜メロンでケーキづくり